

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成29年8月10日 (2017.8.10)

【公開番号】特開2017-55769(P2017-55769A)

【公開日】平成29年3月23日 (2017.3.23)

【年通号数】公開・登録公報2017-012

【出願番号】特願2016-252390(P2016-252390)

【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/68 (2006.01)

G 0 1 N 37/00 (2006.01)

C 1 2 M 1/00 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 Q 1/68 A

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 N 15/00 F

G 0 1 N 33/53 M

G 0 1 N 33/68

G 0 1 N 37/00 1 0 2

C 1 2 M 1/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月19日 (2017.6.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

乳癌患者における乳癌の再発を伴わない長期生存の可能性を予測する方法であって、前記患者から得た乳癌腫瘍試料におけるユビキチン結合酵素 E 2 C (U B E 2 C) の R N A 転写物のレベルを決定するステップと、

U B E 2 C の前記 R N A 転写物の前記レベルを、前記試料における少なくとも 1 つの参照遺伝子のレベルに対して正規化して、U B E 2 C R N A の正規化されたレベルを得るステップと、

正規化された U B E 2 C R N A の発現が前記患者の乳癌の再発を伴わない長期生存の可能性を示すように、前記患者の乳癌の再発を伴わない長期生存の可能性を予測するステップと

を含み、

ここで、U B E 2 C R N A の正規化されたレベルの上昇が、乳癌の再発を伴わない長期生存の可能性の増加と負に相関する、方法。

【請求項 2】

U B E 2 C の前記 R N A 転写物の前記レベルが、全トランスクリプトーム配列決定、逆転写ポリメラーゼ連鎖反応 (R T - P C R)、またはアレイによって決定される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記乳癌腫瘍試料が、固定し蠟に包埋した組織試料である、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記乳癌腫瘍試料が、細針生検試料である、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 5】

UBE2C RNA の前記正規化されたレベルの前記レベルに基づいて報告書を作成するステップをさらに含む、請求項 1、2、3 または 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記乳癌患者が、エストロゲン受容体（ER）陽性乳癌患者である、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の方法。